

(michelangelo
antonioni)
**The
Passenger"**

**jack nicholson
maria schneider**



Distributed by Cetera

The Passenger

Directed by Michelangelo Antonioni

1975

Starring Jack Nicholson / Maria Schneider

さすらいの二人

制作総指揮:アレックスドロ・フォン・ノルマン 制作:カルロ・ポンティ

監督:ミケランジェロ・アントニオーニ

脚本:マーク・ペプロー/ペーター・ワレン/ミケランジェロ・アントニオーニ

撮影:ルチアーノ・トボリ 音楽:イワン・バンドール

出演:ジャック・ニコルソン/マリア・シュナイダー/ジェニー・ラナクレー/イアン・ヘンドリー

1975年/伊=仏=スペイン合作/124分/カラー/ビスタ

配給:セテラ 宣伝協力:HEADZ



'96年、ウィム・ヴェンダースとの共同作品「愛のめぐりあい」で、奇跡のカムバックを果たしたイタリアの巨匠ミケランジェロ・アントニオーニ監督。「さすらいの二人」は、そのヴェンダースも絶賛する、長らくリバイバルが待ち望まれていた一本である。先だって再公開され、ヒットを記録した「欲望」「砂丘」に続くこの作品は、アントニオーニの最高傑作といっても過言ではない。製作された1974年から20年以上が経過した今だから

こそ、この映画は逆に新しさを増して見る者に迫ってくることだろう。

主演はジャック・ニコルソン。人気TVレポーターの職を捨て、砂漠を彷徨っていた彼は、ふとしたことから自分にそっくりな男に成り変わる。やがて彼は、ひとりの女子学生(マリア・シュナイダー)と出会い、旅を共にすることになる。二人の前に次々と起こる謎めいた事件……孤独な男女がさすらいの果てに見つけたものは、一体何だったのか?

Talking About "The Passenger"

「さすらいの二人」対談:

嶺川貴子×曾我部恵一 (サニードイ・サービス)

嶺川: 最初「たるいなー」(笑)とか思ってた。だんだんおもしろくなってきて、最後は引き込まれちゃう。ラスト・シーンで暗くなってきてギターが流れるでしょ、あれがすごい好きなの。

曾我部: あのラスト良かったよねえ。風景に建物が映り込んで、あの建物の感じが、すごい良いと思った。あとジャック・ニコルソンがいいですね。

嶺川: カッコいい!

曾我部: ジャック・ニコルソンのしゃべり方が好きで。ヘンな何か甘ったるい。

嶺川: 特徴ある、鼻にかかったような。

曾我部: なんか気付いたことありました?

嶺川: うーん、結構、普通に考えたら謎めいていて唐突なところがいっぱい。

曾我部: シュールな感じがすごいあった。事件の発生の仕方とか。

嶺川: そうそう。だけどそこ

がすごい好き。現実には忠実じゃないところが「ああ、アントニオーニなのかなあ」とか思ってた。

曾我部: 時間の流れが人生そのものようでしたね。

嶺川: そうそう。なんか、好きなレコード聞いているみたいなかんじってどうか。

曾我部: おもしろいカメラワークもあったよね。車の流れと合わさってカメラが動いたりする。

嶺川: 空間とか撮り方とかおもしろい。最後のシーンが長回しで7分も続いている。

曾我部: やっぱだらんとした…。

嶺川: なんか抜けてんの(笑)。

曾我部: 何の目的で映画作ってんですかね。根本的な所が俺には全然謎ですよ(爆笑)。

嶺川: 同じストーリーでも今のメジャーなハリウッド映画だったら全然違う映画になっちゃうよね。

曾我部: ものすごいサスペンスみたいになりそう。

嶺川: (笑)絶対なると思う。曾我部: そういうところではリアリティがあっているなと思ったんですけど。「まあ、本当はこんなもんなんだろうな」みたいな。

嶺川: そう、逆にそれがすごい身近に感じられた。ニコルソンが監督に「普通にしてくれ」って言われて困ったんでしょ(笑)。

*この対談の完全版は劇場用プログラムに収録されます。

ジャック・ニコルソン 「ハリウッドに歩いて来た男」

著/バトリック・マクギリガン
監修/高見展 訳/島田陽子
A5判 416ページ(予定)
予価2,800円
発行/プロデュース・センター出版局 10月初旬発売

「イージーライダー」制作寓話ほか下積み時代からの出演作を完全追跡した本格的評伝!



1/18(土)より
レイトショー!

連日PM9:20より(終演PM11:30頃)
*2/1(土)からは連日PM9:00より(終演PM11:10頃)

●初日オールナイト・イベント! 1/18(土)PM9:20より 当日料金: 2,500円

Ambient Psyche Movie of Michelangelo Antonioni

「さすらいの二人」「砂丘」「欲望」「太陽はひとりぼっち」
スペシャル・トークショー: 嶺川貴子×曾我部恵一<サニードイ・サービス>

渋谷区道玄坂・ザ・プライム6F
シネセゾン渋谷

03
(3770)
1721

特別鑑賞券1,400円好評発売中!

(当日: 一般1,800円/学生1,500円)

特典・1 劇場窓口のみ特製ポストカード付

特典・2 オリジナルシャツと特別鑑賞券のセットが5,000円! 絶対、お得!